



あした 未来へつなぐ

JR北海道グループは、お客様の安全を最優先に、安心してご利用いただけるサービスを提供し、お客様満足の向上をめざします。

新型一般気動車 H100形 「DECMO(デクモ)」の試作車を報道公開。 新たなローカル線の顔がお目見え



左上／グリーンとホワイトのラインで北海道らしさを表現した車体。 左下／車内はグリーン、ブルーなどで北海道の自然をイメージ。 右上／車体には「DECMO」のロゴも。 右下／車内には、車いす対応洋式トイレを設置。



鉄時代に製造され、老朽化が進む一般気動車キハ40形は、主にローカル線で三十年以上にわたって

運行している旧型車両です。四月六日、JR北海道では、同車両に代わって導入する

新型一般気動車H100形の試作車を、苗穂運転所にて

報道公開しました。今後は試験走行を実施していく

方針です。

「DECMO(デクモ)」と名付けたH100形は、

ディーゼルエンジンの動力で発電した電力を使い、モーターで走行する新方式の

「電気式気動車システム」を採用。これによって、落失が懸念される部品を使う必要

がなくなり、列車運行時や保守作業時の安全性が向上

しました。

また、基本仕様はJR東

日本が開発した新型気動車

GV-E400系の車両と同じですが、防雪・防寒対策

を加え、鹿の出現等による

急ブレーキ時の車輪への傷の発生を抑制するなど、北海道仕様としたのも大きな特徴です。

使いやすさにも配慮し、スムーズに乗り降りできる

よう、キハ40形より床面を低くしたほか、車いすスぺー

スや車いす対応洋式トイレなども設置しています。一方、

室内レイアウトは、乗降口近くにロングシート、車両中

央部にクロスシートを配置し、乗降口付近の立ち乗りの

スペースを広くすることで、朝夕の混雑にも対応できる

ようにしました。

客室内には、液晶式の運賃表示器を設置し、運賃表

示はもちろん、停車駅案内など、各種情報を提供する

とともに、訪日観光客にもわかりやすいよう、外国語での

表示も行う計画です。

シャープでエッジ感のあるフォルムが新しい「DECMO」に、早くも人びとの期待と注目が集まっています。①